

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第6区分
 【発行日】平成21年3月19日(2009.3.19)

【公開番号】特開2006-219198(P2006-219198A)
 【公開日】平成18年8月24日(2006.8.24)
 【年通号数】公開・登録公報2006-033
 【出願番号】特願2006-20079(P2006-20079)
 【国際特許分類】

B 6 5 D 33/25 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 33/25 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年1月30日(2009.1.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

前壁および後壁と、

互いに噛合する第1と第2の輪郭部材、第1と第2のフランジ、および、前記噛合する第1と第2の輪郭部材を開閉するスライダを含む再閉鎖可能なジッパとを具備し、

ウェブシートを折り曲げて、前記前壁の中心部において前記ウェブシートの縁部を合わせ、フィンシールにおいて前記再閉鎖可能なジッパに接合するようにし、前記第1と第2のフランジをフィンシール内に接合し、かつ、前記互いに噛合する第1と第2の輪郭部材が前記フィンシールから突出するようにした再閉鎖可能なバッグ。

【請求項2】

前記ウェブシートの折曲げ部により形成された上縁部分と下縁部分とを含む請求項1に記載の再閉鎖可能なバッグ。

【請求項3】

前記前壁と後壁とを接合するサイドシール部を含む請求項2に再閉鎖可能なバッグ。

【請求項4】

前壁および後壁と、

再閉鎖可能なジッパとを具備し、

ウェブシートを折り曲げて、前記前壁の中心部において前記ウェブシートの第1と第2の縁部を合わせ、フィンシール内で前記第1と第2の縁部を第1と第2のフランジに接合し、前記互いに噛合する第1と第2の輪郭部材が前記第1と第2の縁部から内側で前記ウェブシートに接合され、前記ジッパが前記第1と第2の縁部から実質的に突出せず、かつ、前記第1と第2の縁部が互いに実質的に接合されていないようにした再閉鎖可能なバッグ。

【請求項5】

前壁および後壁と、

互いに噛合する第1と第2の輪郭部材、第1と第2のフランジ、および、前記噛合する第1と第2の輪郭部材を開閉するスライダを含む再閉鎖可能なジッパとを具備し、

ウェブシートを折り曲げて、前記前壁の中心部において前記ウェブシートの縁部を合わせ接合してフィンシールとし、該ウェブシールを前記縁部から内側で前記第1と第2のフランジに接合し、かつ、前記縁部を前記ジッパの上方で接合してシュラウドが形成される

ようにした再閉鎖可能なバッグ。

【請求項 6】

前記シュラウドが、1または複数の脆弱線を含む請求項 5 に記載の再閉鎖可能なバッグ

。

【請求項 7】

前記再閉鎖可能なジップが、ストリングジップ(string zipper)である請求項 5 に記載の再閉鎖可能なバッグ。

【請求項 8】

前壁および後壁と、

互いに噛合する第 1 と第 2 の輪郭部材、第 1 と第 2 のフランジ、および、前記噛合する第 1 と第 2 の輪郭部材を開閉するスライダを含む再閉鎖可能なジップとを具備し、

ウェブシートを折り曲げて上縁部と下縁部とを形成し、前記前壁の中心部において前記ウェブシートの縁部を合わせ接合してフィンシールとし、前記第 1 と第 2 のフランジを前記全縁部における折曲げ部内に接合するようにした再閉鎖可能なバッグ。

【請求項 9】

前記前壁と後壁とを接合するサイドシール部を含む請求項 8 に再閉鎖可能なバッグ。

【請求項 10】

ウェブシートを準備する工程と、

互いに噛合する第 1 と第 2 の輪郭部材、第 1 と第 2 のフランジ、および、前記噛合する第 1 と第 2 の輪郭部材を開閉するスライダを含む再閉鎖可能なジップを準備する工程と、

ウェブシートを折り曲げて、前記ウェブシートの両外側 1 / 4 の部分を同ウェブシートの長手の中心沿いの 1 / 2 の部分の上に移動させ、以って前記ウェブシートの長手の縁部と前記ジップとを合わせる工程と、

前記長手の縁部の間に前記ジップを配置してフィンシールを形成する工程とを含み、

前記第 1 と第 2 の輪郭部材が前記フィンシールから突出するようにした再閉鎖可能なバッグを形成する方法。

【請求項 11】

ウェブシートを準備する工程と、

互いに噛合する第 1 と第 2 の輪郭部材、第 1 と第 2 のフランジ、および、前記噛合する第 1 と第 2 の輪郭部材を開閉するスライダを含む再閉鎖可能なジップを準備する工程と、

ウェブシートを折り曲げて、前記ウェブシートの両外側 1 / 4 の部分を同ウェブシートの長手の中心沿いの 1 / 2 の部分の上に移動させ、以って前記ウェブシートの長手の縁部と前記ジップとを合わせる工程と、

前記ウェブシートが前記ジップの上方に突出するようにし、前記縁部を接合して前記ジップの上方にシュラウドが形成されるようにした再閉鎖可能なバッグを形成する方法。

【請求項 12】

ウェブシートを準備する工程と、

ジップを準備する工程と、

ウェブシートを折り曲げて、前記ウェブシートの両外側 1 / 4 の部分を同ウェブシートの長手の中心沿いの 1 / 2 の部分の上に移動させ、以って前記ウェブシートの長手の縁部と前記ジップとを合わせる工程と、

前記長手の縁部の間に前記ジップを配置してフィンシールを形成する工程とを含み、

前記時派はスライダを備えず、かつ、前記ジップが前記フィンシールから実質 t 系に突出せず、かつ、前記第 1 と第 2 の縁部が実質的に互いに接合されていないようにした再閉鎖可能なバッグを形成する方法。

【請求項 13】

ウェブシートを準備する工程と、

互いに噛合する第 1 と第 2 の輪郭部材、第 1 と第 2 のフランジ、および、前記噛合する第 1 と第 2 の輪郭部材を開閉するスライダを含む再閉鎖可能なジップを準備する工程と、

ウェブシートを折り曲げて、前記ウェブシートの両外側 1 / 4 の部分を同ウェブシート

の長手の中心沿いの1/2の部分の上に移動させ、以って前記ウェブシートの長手の縁部と前記ジッパとを合わせ、上折曲げ部と下折曲げ部とを形成する工程と、

前記長手の縁部によってフィンシールを形成する工程とを含んで成る再閉鎖可能なバッグを形成する方法。